

いわき市総合防災訓練の実施支援を行いました（2023/7/8）

テーマ：令和5年度第1回いわき市総合防災訓練【大雨・洪水編】に参画しました

会場：いわき市役所 など

URL：<https://www.city.iwaki.lg.jp/www/contents/1685947308256/index.html>

2023（令和5）年7月8日（土）、いわき市長も参加して年2回実施している同市の総合防災訓練において、同市と東北大学災害科学国際研究所との「防災に掛かる連携と協力に関する協定」に基づき、柴山明寛准教授（災害文化アーカイブ研究分野）を筆頭に、齋藤玲助教（認知科学研究分野）、新家杏奈助教（イオン防災環境都市創成共同研究部門）、鎌田健一特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）に加え、2021年度まで当研究所に所属していた杉安和也講師（岩手県立大学）の5名のチームが、防災訓練の実施支援を行いました。

当研究所を中心としたこのチームでは、4名がコントローラーとして市民やインフラ機関、報道関係者役となって模擬的に対策本部に電話をかけ、あるいは情報連絡票を手交することによって、刻々と変化する災害・被害情報を対策本部に伝達しました。それと共に対応内容の確認を行い、情報が正しく伝達・共有され、市民や報道機関などに的確な対応を出来ているかについて個別に評価し、柴山准教授が訓練状況の全体評価と講評を行いました。

同市は職員を中心として防災意識が高く、また周到に準備されたシナリオの下に訓練が実施されたことから、全体としては円滑に対策本部が運営されていることが確認されました。一方、対策本部内での指示に一部混乱が見られる等の改善点が確認されたこと等により、今後の更なる災害対策の向上に資する問題点の把握と知見を得ることが出来たものと考えられます。「逃げ遅れゼロ」「災害死ゼロ」を目指して取り組んでいるいわき市の防災訓練を、当研究所は今後も支援を継続していきます。



防災訓練中の災害対策本部の様子（右端・柴山准教授）